

### 人口割合の変化を見る…海南市編

2010年・2015年・2020年の3回の国勢調査の結果をもとに、地域別の人口割合の変化をみるシリーズ4回目は海南市。海南市はかつて民間の調査で「関西で一番子育てがしやすい街」と評されたこともあります。他の自治体同様、人口減少が続いています。人口割合の変化に地区の差はみられるのでしょうか。

海南市は、石油化学や鉄鋼などの重工業事業所や発電所が港湾部に、黒江漆器などをルーツとした日用品等の製造工場が旧海南市域を中心に多数立地。旧下津町では柑橘類の栽培が盛んで、一次産業・二次産業が活発な自治体です。その後、和歌山市や大阪方面のベッドタウンとして住宅開発も進み、様々な都市機能がコンパクトに集積していました。その後、他の地方都市同様人口減少が始まり、いわゆる「消滅可能性都市」にも当てはまることになりました。港湾部の事業所のなかには事業の撤退や縮小を実施したところも出てきています。

そんな海南市の過去3回の国勢調査の小さな地域集計の結果を、市が定める12の地区ごとに集計したものが下の表です。黒江から南野上までは「平成の大合併」までの旧海南市域、下津から仁義までは旧下津町域となつています。

**中心部と山間部で人口が激減**  
海南市中心部の黒江・日方・内海、東部の北野上・中野上・南野上、そして旧下津町域では10年間で15%、30%の人口減少がみられます。また、南野上、塩津、仁義の3地区では年少人口が極めて少なく

	2010年				2015年				2020年			
	年少人口	生産人口	高齢人口	合計	年少人口	生産人口	高齢人口	合計	年少人口	生産人口	高齢人口	合計
市全体	6,344	31,668	16,629	54,641	5,659	28,330	17,625	51,614	4,867	25,370	17,720	47,957
黒江	524	2,961	2,100	5,585	394	2,499	2,093	4,986	268	2,101	1,970	4,339
日方	461	2,726	1,735	4,922	413	2,348	1,751	4,512	327	1,997	1,604	3,928
内海	595	3,078	1,806	5,479	529	2,723	1,866	5,118	411	2,401	1,754	4,566
大野	725	3,423	1,392	5,540	659	3,166	1,524	5,349	657	2,963	1,617	5,237
巽	773	3,552	1,630	5,955	857	3,414	1,775	6,046	846	3,322	1,896	6,064
亀川	1,206	4,663	1,495	7,364	1,161	4,567	1,745	7,473	1,074	4,422	2,034	7,530
北野上	270	1,561	994	2,825	211	1,268	1,132	2,611	165	1,076	1,127	2,368
中野上	316	1,630	892	2,838	265	1,400	939	2,604	242	1,242	936	2,420
南野上	88	763	489	1,340	76	645	470	1,191	56	533	444	1,033
下津	428	2,258	1,209	3,895	325	1,969	1,275	3,569	240	1,681	1,232	3,153
大崎	469	2,449	1,375	4,293	387	2,098	1,522	4,007	292	1,770	1,558	3,620
塩津	45	317	252	614	29	249	226	504	21	187	225	433
加茂	371	1,800	960	3,131	304	1,614	1,001	2,919	239	1,386	1,025	2,650
仁義	73	487	300	860	49	370	306	725	29	289	298	616

【集計方法】2010年・2015年・2020年の国勢調査の小さな地域集計結果に基づき、海南市が定める各行政区ごとに人口を合計しています。集計は「わかつく」編集部がおこなっているため、他の各種統計資料と差異がある可能性があります。

なっているほか、多くの地区で年少人口自体が10年間で4割以上の減少となっているのがわかります。

**郊外部では人口増加も**  
一方、海南市の郊外部の大野、巽、亀川は人口は微減もしくは増加しており、年少人口割合も10%を大きく上回っています。

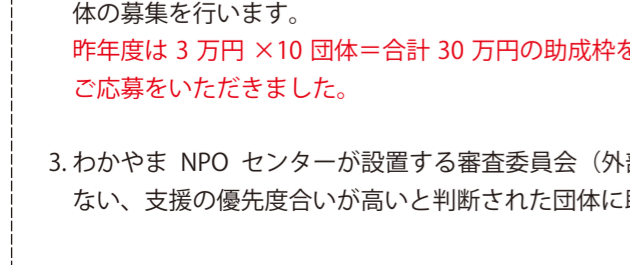
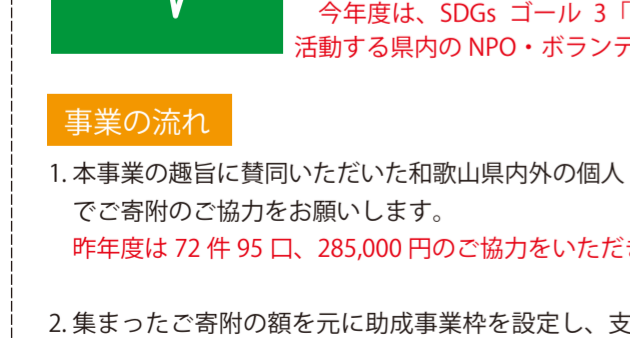
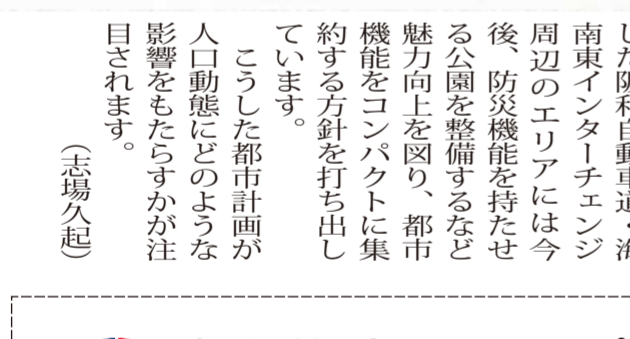
特に巽（たつみ）地区では重根（しこね）地区に比べて、市内中心部と東部、旧下津町域でかなり高くなつてい

ます。人口が減少している地域で高齢化率が上昇している傾向がみられます。海南市の「都市計画マスタープラン」では、人口減少に伴う人口密度の低下が様々な産業の維持に影響を与えるとの懸念を表明。現在の中心市街地エリアには複合施設「海南ノビンス」がオープンするなどの機能強化が図られています。

一方、市役所が移転した阪和自動車道・海南東インターチェンジ周辺のエリアには今後、防災機能を持たせる公園を整備するなど魅力向上を図り、都市機能をコンパクトに集約する方針を打ち出しています。

こうした都市計画が人口動態にどのような影響をもたらすかが注目されます。

（志場久起）



### わかやま SDGs パートナーシップ 基金へのご寄附のお願い

みんなの力で SDGs 実現を！

3 すべての人に健康と福祉を

国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成には、世界のあらゆる国、あらゆる主体が参画することが求められています。ここ和歌山の地で、SDGs 達成に向けた取り組みを進める産・官・学・民の連携を進めるための基金「わかやま SDGs パートナーシップ基金」を発足しました。

今年度は、SDGs ゴール 3「すべての人に健康と福祉を」に向けて活動する県内の NPO・ボランティア団体を応援します。

#### 事業の流れ

1. 本事業の趣旨に賛同いただいた和歌山県内外の個人・企業のみならず、1口3,000円でご寄附のご協力をお願いします。  
昨年度は72件95口、285,000円のご協力をいただきました。
2. 集まったご寄附の額を元に助成事業枠を設定し、支援を希望する NPO・ボランティア団体の募集を行います。  
昨年度は3万円×10団体＝合計30万円の助成枠を設定し、募集を実施。40件を超えるご応募をいただきました。
3. わかやま NPO センターが設置する審査委員会（外部委員を含みます）による審査をおこない、支援の優先度合いが高いと判断された団体に助成を実施します。

支援件数はご寄附の集約状況により変動しますが、今年度も3万円×10団体程度の支援を計画しています。

4. ご寄附いただいた方には、翌年1月頃に寄附金受領証明書をお送りします。確定申告により所得税等の控除が受けられます。  
※ 来年の確定申告での控除の対象となるのは、今年12月末までにわかやま NPO センターに入金いただいたご寄附です。クレジットカードでの寄附は決済から入金まで1カ月以上かかるため、来年での確定申告での控除をご希望の方は、恐れ入りますがクレジットカード以外での方法でご寄附をお願いいたします。
5. 事業終了後、各助成先の取り組みを公開します。昨年度助成先の取り組み事例はこちらから▶

#### ご支援の方法

- ▶ 1口3,000円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込（振込手数料はご負担ください）、クレジットカード決済（振込手数料はかかりません）がご利用いただけます。
- ▶ 次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます。http://www.wnc.jp/sdgs/

【運営】  
認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12  
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp  
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

### 和歌山市 NPO・ボランティア 推進協議会 だより

和歌山市地域フロンティアセンターを  
グリーンにして、新年を迎えよう

日程 12月21日（水）10:00～12:00  
場所 和歌山市地域フロンティアセンター（フォルテワジマ6階）  
定員 10名  
申込先 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会（池田さん）  
TEL 090-1156-6799  
FAX 073-427-8164  
メール nope930@gmail.com  
持ち物 ぞうきん  
備考 当日、体調が優れない場合は参加をご遠慮ください。手指消毒やマスク着用などウイルス感染対策へのご協力をお願いします。新型コロナウイルス感染症拡大状況により、中止とさせていただきます。ご了承ください。

※このコーナーは、同協議会からの情報提供によりお届けしています。

